応募前の金額チェック表

クラウドワークスの応募画面で、契約金額を入れて送る前に見る1枚です。2026年11月版／ひとり実務ラボ

1. 税込の募集を税抜に直す早見表

募集の額（税込）	入れる額（税抜）	1円少なく入れると	受け取り（源泉なし）
500円	**455円**	454円 → 499円	390円
1,500円	**1,364円**	1,363円 → 1,499円	1,170円
2,000円	**1,819円**	1,818円 → 1,999円	1,560円
3,000円	**2,728円**	2,727円 → 2,999円	2,340円
10,000円	**9,091円**	9,090円 → 9,999円	7,800円
15,000円	**13,637円**	13,636円 → 14,999円	11,700円

計算：募集の額 ÷ 1.1、端数は切り上げ。税込は1円未満を切り捨てて表示されるため、切り捨てると1円足りなくなります。
税込1,000円ちょうどにはなりません（909円 → 999円、910円 → 1,001円）。値は2026年11月24日に応募画面で表示を確かめたものです。

2. 送る前に見る4つ（すべてにチェックが入ったら送る）

☐ 「契約金額を提示」を選んでいる	「相談してから金額を提案」は「気軽な相談」になり、正式な応募になりません
☐ 欄の下の税込の額が、募集の額と合っている	入れた欄ではなく、下に出る「契約金額（税込）」で見比べる。1円ずれたら税抜を1円上げる
☐ 1本分の額で入れている（総額にしていない）	本数や総額は応募文に書く。募集の下限が1本の額より高いときは、下限を入れて応募文で補足
☐ 源泉徴収のチェックを確かめた	初めからオン。オンのままだと契約完了後に本名と住所が相手に開示されます

3. 迷うことは応募文に1行で書く（例）

税込か分からない	「募集の〇円を税込として、契約金額は税抜〇円で入れました。」
テストの報酬	「契約前のテストの有無と、報酬の額を教えていただけますか。」
本数と総額	「1本分の〇円で入れています。〇本の場合は合計〇円です。」
下限に届かない	「入力欄の下限のため〇円で入れていますが、1記事〇円で問題ありません。」

4. 記録欄

応募日	募集の額	入れた額	税込の表示	単位	源泉	応募文で確かめたこと
					オン・オフ	
					オン・オフ	
					オン・オフ	
					オン・オフ	

受け取りは、システム利用料22%（10万円以下の契約）を引いた額で、振込手数料は含みません。仕様はクラウドワークスのヘルプ「契約金額・報酬について」「応募時の契約金額の決定方法」と応募画面（2026年11月24日時点）によります。